



水防災フォーラム開催します

昭和22年・23年に相次いで来週したカスリン・アイオン台風は、各地で甚大な被害をもたらしました。

それから70年が経過し、水害の常襲地だった一関・平泉地区では、遊水地や堤防などの治水施設を原風景と捉える世代となり、水害に対する防災意識は薄れつつある。一方で、短時間の集中豪雨や局地的な豪雨等により、施設機能を上回る洪水の発生頻度が高まることが予測されている。

そこで、カスリン台風から70年の節目に、これまでの水災害の教訓と近年の気象状況などを知り、そして、地域の未来のために、安全を守る「水防災」を一緒に考える機会として、「カスリン・アイオン台風70年 水防災フォーラム」を平成29年9月9日(土)に一関文化センターで開催します。



プログラム

10:00~10:50 アトラクション●舞川鹿子躍●一関市消防団纏組
 10:50~11:00 挨拶

- 勝部 修氏 (一関市長)
- 高村 裕平氏 (国土交通省 東北地方整備局 河川部長)

11:00~12:00 作文発表会、アイオン台風体験談
 ●平成28年度「土砂災害防止に関する作文」入賞作品発表会
 ●アイオン台風体験談「生きる」

12:20~12:55 昼休憩 ●「北上川」記録映像放映
 基調講演

13:00~14:00 ●「カスリン・アイオン台風70年に思う」
 14:00~15:00

- 「増え続ける台風・大雨災害と最新の防災情報について」
- 「水防災意識社会」の再構築を考える

15:15~16:30 「水防災意識社会」の再構築を考える
 16:30 閉会(挨拶) ●清水 晃氏
 (国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所長)

カスリン・アイオン台風70年

水防災フォーラム

胸に刻もう 『カスリン・アイオン台風70年』
 ~風化させない歴史とつなげる未来~

日時 平成29年 9/9(土) 10:00~16:30 参加費無料

会場 一関文化センター (大ホール)
 〒921-0894 一関市大字町-16
 TEL.0191-21-2121

無料 シャトルバス運行 (会場 ↔ 一関市役所)

13:00~ 基調講演
 「カスリン・アイオン台風70年に思う」
 【講師】 高崎 哲郎 氏
 著作: 土大東野郎

「増え続ける台風・大雨災害と最新の防災情報について」
 ~自分の命は自分で守る!~
 【講師】 大隅 智子 氏
 著: 防災士、防災士
 N-1水防協会の「おぼんですすむて」の発行者として出演中

15:15~ パネルディスカッション
 テーマ 「水防災意識社会」の再構築を考える
 コーディネーター 平山 謙一 氏 (岩手大学名誉教授)
 パネラー 佐藤 隆雄 氏 (一関市立図書館長)
 拉山 廣治 氏 (中央大学名誉教授)
 大隅 智子 氏 (防災士、防災士)
 八幡 弘明 氏 (岩手河川国道事務所 調査課長)
 清水 晃 氏 (国土交通省東北地方整備局 岩手河川国道事務所長)

共催 一関市、岩手県、一関商工会連合、北上川「流域」フォーラム実行委員会、国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所
 協賛 (一社)東北地域づくり協会 後援 岩手日日新聞社、岩手日報社、ICN-一関ケーブルネットワーク、一関コミュニティFM株式会社

お問い合わせ
 一関市 建設部 治水課
 TEL.0191-21-8601
 岩手河川国道事務所 調査課 第一課
 TEL.0191-23-6165

風化させない歴史とつなげる未来

会場案内図

無料シャトルバス運行しています。

会場 ↔ 一関市役所

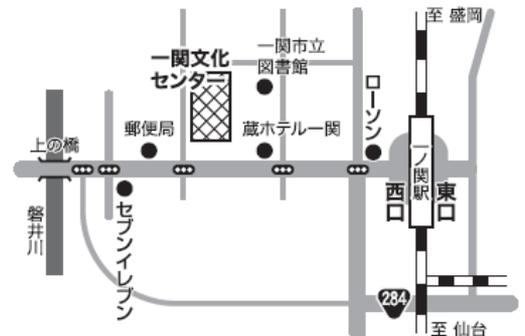
●お車でお越しの方

- ▶ 国道4号からペリーノホテル一関の交差点を一関駅方面に進み、セブンイレブンを過ぎたら交差点を左折。
- ▶ 国道284、342号から一関駅前交差点を西側に進み、2つ目の信号がある交差点を右折。



●JRでお越しの方

▶ JR一関駅西口から、徒歩5分。



※詳細については、国土交通省 岩手河川国道事務所ホームページをご覧ください。

http://www.thr.mlit.go.jp/bumon/kisya/kisyah/images/66735_1.pdf

◆◆編集後記◆◆ 一関地区の電柱や軒先等には、カスリン・アイオン台風を中心とした洪水水位標示板が多数あり、私たちに常に脅威を教えてくれています。「その時」の為に、歴史を風化させず、防災に取り組んでいきたいですね。(ヤ)



胸に刻もう 『カスリン・アイオン台風70年』

~風化させない歴史とつなげる未来~